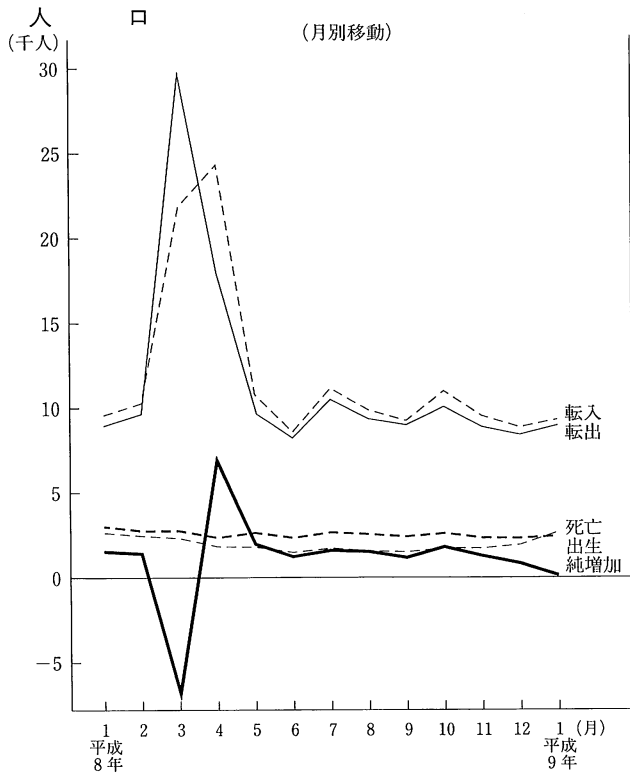
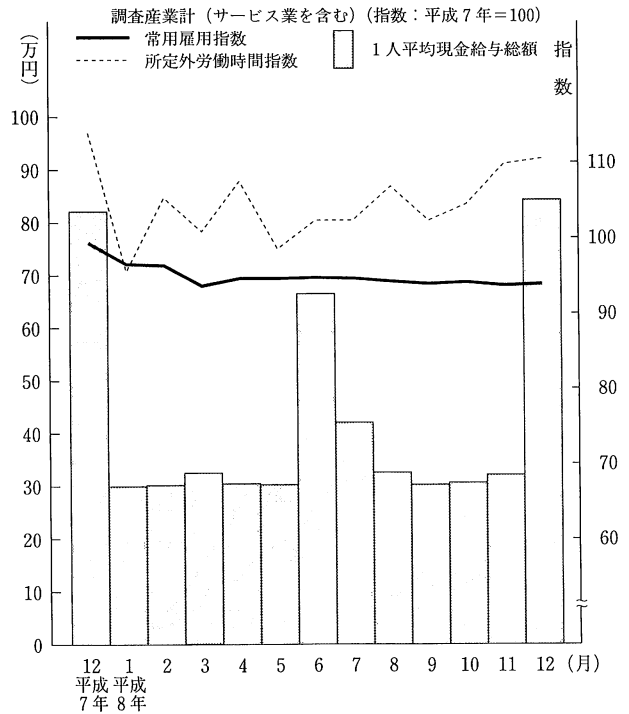


●今月の主な動き

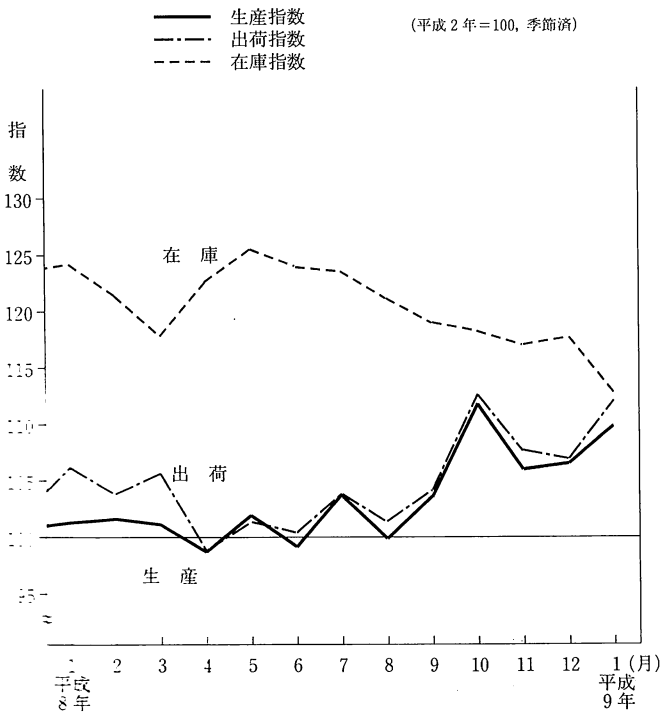
# 今月の主な動き



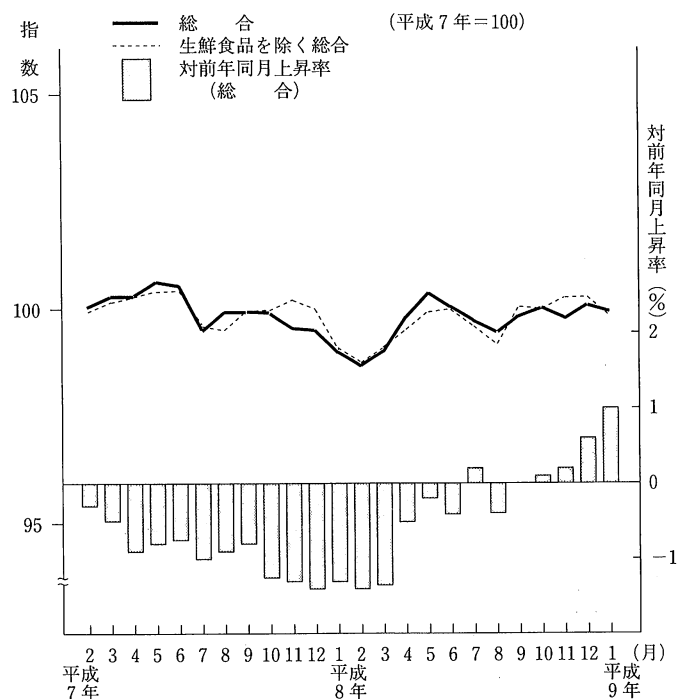
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



# 主な動きのあらまし……………企画部統計課

## ■人口（9年2月1日）

本県の人口は、1月中に119人増加し、2月1日現在で、2,972,780人（男1,484,852人、女1,487,928人）となった。内訳は、自然動態で、235人（出生2,437人、死亡2,672人）減少し、社会動態で、354人（転入9,324人、転出8,970人）増加した。前年同月と比べると11,851人（0.4%）の増加である。

市町村別では、増加が8市31町村、減少が12市33町村、増減なしが1町である。世帯数についても1月中に511世帯増加し、942,510世帯となった。

## ■賃金・労働時間・雇用（8月12月）

### 1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で843,570円、対前年同月比5.5%増、このうち、きまって支給する給与は307,007円、対前年同月比3.4%増であった。また、このうち、所定内給与は278,207円、対前年同月比1.1%増であり、超過労働給与は28,800円、対前年同月比3.7%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比4.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

### 2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で163.5時間、対前年同月比6.9%減であった。このうち、所定内労働時間は148.8時間、対前年同月比7.2%減、所定外労働時間は、14.7時間、対前年同月比3.0%減であった。

### 3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比5.4%減であった。

## ■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（9年1月）

本県における平成9年1月の「鉱工業指数」（平成2年=100）は、季節調整済指数で、生産が109.6、出荷が112.5、在庫が113.5で、前月比は、生産が3.2%の上昇、出荷が5.2%の上昇、在庫が3.5%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が8.2%の上昇、出荷が6.0%の上昇、在庫が8.4%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業、繊維工業、鉄鋼業等が上昇し、化学工業、その他工業、プラスチック製品工業等が低下した。出荷では、輸送機械工業、鉄鋼業、精密機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、

その他工業、化学工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、鉱業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、食料品・たばこ工業、精密機械工業、一般機械工業等が低下した。

財別にみると、生産では、建設財、資本財等が上昇し、非耐久消費財が低下した。出荷では、建設財、資本財等が上昇し、その他用生産財、耐久消費財が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。

## ■消費者物価指数（9年1月）

平成9年1月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で99.9（平成7年=100）となり、前月比0.2%の下落、前年同月比0.6%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……果物7.1%、野菜・海草1.8%、魚介類1.4%

今月の下がった主な項目……衣料11.6%、シャツ・セーター・下着5.8%、乳卵類4.3%

生鮮食品を除く総合は99.8となり、前月比0.4%の下落、前年同月比0.6%の上昇であった。

## ■費目別指数

（平成7年=100）

区 分	指数	上昇率 (%)		区 分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	99.9	△0.2	0.6	保 健 医 療	101.9	0.0	1.2
食 料	100.1	0.8	1.2	交 通 通 信	98.7	0.0	△0.3
住 居	102.0	0.4	1.6	教 育	103.3	0.0	2.6
光熱・水道	100.6	0.8	2.1	教 養 娯 楽	97.7	△0.1	△2.1
家具・家事用品	96.7	△0.3	△2.2	諸 雑 費	99.5	0.0	△0.3
被服及び履物	98.0	△6.9	1.9	生鮮食品を除く総合	99.8	△0.4	0.6